

# VII 英語運用能力を育成する取組の評価

	TOEFL (iBT及びComplete Practice Test)	英検	GTEC for STUDENTS
AAA	受験者40名以上かつ上位30名平均72以上	準1級以上30名以上	上位30名の平均が810以上
AA	受験者40名以上かつ上位30名平均42以上72未満	2級以上30名以上	上位30名の平均が675以上809未満
A	受験者40名以上かつ上位30名平均42未満	評価せず	評価せず
B	受験者40名以下かつ平均42以上	評価せず	評価せず
C	上記基準に達せず	評価せず	評価せず

資料5-1

学校	独自取組	外部検定試験							評価		
	主な取組	取組詳細	英語検定合格者(受験者)	TOEIC受験者(最高スコア、平均スコア) 公開：990点満点 IP：990点満点 Bridge：180点満点	TOEFL受験者(最高スコア、平均スコア) iBT：120点満点 ITP Level 1：677点満点 ITP Level 2：500点満点 Junior：900点満点 TOEFL iBT Complete Practice Test	TOEFL合計人数(iBT ITP, Junior, Complete Practice Test) (ibt, Complete Practice Test 上位30名平均)	その他	TOEFLに係る評価		英語検定	その他
北野	①「授業を変える」取組の充実 ②英語による講演・大学院留学生との交流会実施 ③「学内留学講座」の実施 ④SETによる独自教材の作成と活用 ⑤海外でのフィールドワークの実施(ハワイ研修、シアトル研修、シンガポール・マレーシア研修、台湾研修) ⑥アジア出身の講師によるTOEFL講座(年8回)の実施 ⑦TOEFL iBT Complete Practice Test 実施 ⑧TV会議システムを利用した海外交流の実施	別途記載	準1級2名 2級14名 準2級4名 (32名)		iBT 1名(104) TOEFL iBT Complete Practice Test 25名(最高107 平均57.8)	26名 (平均57.8)		B	-	-	B
豊中	①英語リスニング講座 ②TOEFLコース ③英国語学研修 ④AIU米国高校生ディスカッション	別途記載	2級16名 準2級9名 (25名)	公開1名 (最高765、平均765)	iBT Complete Practice Test 153名(最高81 平均34.2) Junior 1(790) (最高54 平均37.5)	154人 (上位平均53.3)	GTEC for STUDENTS 716(最高753 平均515.5) (上位平均650)	AA	-	-	AA
茨木	①TOEFL iBT Complete Practice Test 実施 ②ティベートを取り入れた英語授業 ③海外修学旅行の取り組み ④大阪大学等留学生との交流 ⑤海外(主にアジア)の高校生との交流 ⑥「イメージングプログラム」の実施 ⑦長期留学生の受け入れ ⑧「英語教育推進事業」への参加	別途記載	準1級2名 2級32名 準2級3名 (44名)	公開4名 (最高865、平均776)	iBT Complete Practice Test 125名 (最高100 平均57.0) Junior 4(最高800平均719)	125名 (上位平均72.8)	-	AAA	AA	-	AAA
大手前	①チャレンジTOEFL iBT ②English Camp ③シンガポール語学研修 ④マレーシア海外研修 ⑤英国交流 ⑥アメリカ研修 ⑦海外大学、AO入学向けTOEFL個別レッスン	別途記載	準1級2名 2級50名 準2級76名	-	iBT 4名 (最高86 平均79.3) iBT Complete Practice Test 40名 (最高86 平均40.7)	44名 (上位平均41.4)	-	A	AA	-	AA
四條畷	①英語コミュニケーション講座(7月16日) ②TOEFL iBTチャレンジ講座(レベル別2コース)全10回(10月~1月)、プラクティステスト2回(10月、1月) ③イングリッシュキャンプ(9月19日) ④英語暗唱大会(9月12日) ⑤異文化理解講座(2月16日) ⑥如月杯(2月4日) ⑦英語コミュニケーション集中講座3回(3月) ⑧オーストラリア研修(3月13日~3月22日)	別途記載	-	-	iBT Complete Practice Test 80名 (最高61 平均31.9)	80名 (上位平均38.0)	-	A	-	-	A
高津	①「英語コミュニケーション集中講座(KITEC)」の実施 ②英国語学研修の実施 ③TOEFL特別講座の実施 ④国内英語研修の実施 ⑤英語外部検定試験(英語検定・TOEFL・GTEC)の受験 ⑥SSH事業における英語での交流・発表 ⑦AIU米国高校生ディスカッション	別途記載	2級154名 準2級295名 (696名)	-	iBT Complete Practice Test 40名 (最高73 平均40.2)	40名 (上位平均45.0)	GTEC for STUDENTS 711(最高748、519.3) (上位平均683.5)	AA	AA	AA	AA
天王寺	①1・2年生文理学科英語表現授業内TOEFL Lesson ②1年生普通科・2年生普通科・文理学科土曜日 TOEFL Lesson ③イングリッシュデイ ④海外研修5ヶ所 ⑤MOOCsを利用した海外の大学講座受講 ⑥天高アカデミアにおける英語による講義 ⑦ケンブリッジ大教授による英語個人レッスン ⑧1年生全員がEUシンポジウムで英語による講演受講 ⑨サイエンスイングリッシュ ⑩英語教育推進事業Advanced Class ⑪資格試験受験：TOEFL iTP受験 ⑫大阪グローバル塾	別途記載	準1級2名 2級29名 準2級31名 (72名)	公開② (最高755、平均603) IP3名 (最高610、平均390)、 Bridge2名 (最高129、平均125)	ITP Level 1 25名 (最高540 平均470.3) iBT Complete Practice Test 124名 (最高96平均45.1)	149名 (上位平均64.7)	-	AA	AA	-	AA
生野	①イングリッシュキャンプ ②オーストラリア語学研修、台湾研修 ③TOEFL iBTチャレンジ講座 ④英語検定全員受験	別途記載	2級154名 準2級272名 (706名)	-	iBT Complete Practice Test 24名 (最高35 平均22.1)	24名 (平均22.1)	-	C	AA	-	A
三國丘	①SGH事業の実施 ②SETによるTOEFL授業の実施 ③TOEFLチャレンジの受験 ④TOEFL ITPの受験 ⑤海外研修の実施 ⑥海外の高校生との交流 ⑦英語による課題研究発表	別途記載	準1級2名 2級6名 準2級1名 (10名)	-	Junior 1名(840) iBT Complete Practice Test 159名 (最高75 平均34.8) ITP (Level 1) 11名(最高537 平均462.6) ITP (Level 2) 317名(最高493 平均387.2)	487名 (上位平均49.7)	-	AA	-	-	AA
岸和田	①実用英語技能検定 校内会場 ②TOEFL iBT チャレンジ講習 ③グローバルリーダー養成プログラム(カリフォルニア大学パークレー校版) ④グローバルリーダー養成プログラム(校内実施版) ⑤オーストラリア語学研修 ⑥台湾景美女子高級中学(姉妹校)との英語での相互交流(リンガ・フランカ交流) 海外修学旅行の実施 ⑦海外高校生との交流 ⑧海外日本語教師との交流 ⑨World Cafeの実施(TEDなど活用) ⑩センター対策リスニング講座 ⑪AIU米国高校生とのディスカッション交流 ⑫英語によるSSH探究・課題研究発表	別途記載	2級19名 準2級45名 (86名)	-	iBT Complete Practice Test 40名 (最高60 平均24.5)	40名 (上位平均28.8)	-	A	-	-	A

# 英語運用能力を育成する取組（参考）

学校	独自取組	
	主な取組	取組概要
北野	①「授業を変える」取組の充実 ②英語による講演・大学院留学生との交流会実施 ③「学内留学講座」の実施 ④SETによる独自教材の作成と活用 ⑤海外でのフィールドワークの実施（ハワイ研修、シアトル研修、シンガポール・マレーシア研修、台湾研修） ⑥アジア出身の講師によるTOEFL講座（年8回）の実施 ⑦TOEFL iBT Complete Practice Test 実施 ⑧TV会議システムを利用した海外交流の実施	①1・2年生の授業で電子黒板を活用したり、授業の一部でSETと独自教材の活用により授業をすべて英語で実施するなど、「授業を変える」取組が充実している。②SGH課題研究（英語系）の講座において、タイ国領事をはじめ、アジア出身先生方を大学より招請。さらに大阪大学大学院より留学生を6名（インドネシア2名、タイ2名、ミャンマー2名）を10月～2月までアドバイザーとして招いた。現地事情や、現地の考え方や得にくい情報を得ることができた。③民間教育機関を活用した「学内留学講座」を4回実施し、H26年度の44名から、H27年度は129名と飛躍的に参加者の人数が伸びた。SETが作成した教本（4冊）を活用し4技能を鍛える授業を行った。④1年（ORAL COMMUNICATION、英語COM、英語EX、2年（異文化理解、COM II）に使用される4種類のオリジナル教材を作成。⑤語学研修的な側面と、異文化を実体験する貴重な機会として4方面へのフィールドワークを提供。⑥第二言語としての英語基礎力習得をめざすTOEFLセミナーⅠ、およびより高度な英語運用能力を養成するTOEFLセミナーⅡを実施。⑦教育課程内外での英語習得を経過を客観的に図るために2年次に実施。⑧ハワイ州プナホウスクール日本語学科とスカイプを用いたプレゼンテーション交換会を実施
豊中	①英語リスニング講座 ②TOEFLコース ③英国語学研修 ④AIU米国高校生ディスカッション	①センター試験のリスニング対策を土曜日、長期休業中に、予備校のDVD講義を利用して行った。②TOEFLIBTテスト対策のテキストを使用し、放課後および土曜日の午前中（必要に応じて）、英語4技能の指導を行った。③13日間、イギリスの語学学校の主催するインターナショナルプログラムに参加させた。④7/30 AIU米国高校生とのディスカッション交流に向け、昼休みの時間と夏休み5日間ディスカッション指導を行った。
茨木	①TOEFL iBT Complete Practice Test 実施 ②ディベートを取り入れた英語授業 ③海外修学旅行の取組 ④大阪大学等留学生との交流 ⑤海外（主にアジア）の高校生との交流 ⑥「イマージョンプログラム」の実施 ⑦長期留学生の受け入れ ⑧「英語教育推進事業」への参加	①事前の取組目として2年選択科目EiAでBARRON'Sを利用した演習を行った。②保健の授業でのディベートの経験を生かして、2年「英語表現」授業にて、「移民受け入れの是非」「スマートフォンの是非」等のテーマでディベートを実施。論理的・批判的思考力を鍛える。③マレーシアのSMK PASIR GUDANG中・高校訪問、文化及び、スポーツ交流等を実施した。④大阪大学留学生58名を招き、本校1年6～7人の生徒に留学生1人という小グループでのディスカッションを行う。また、別の日に世界の屋台体験として、来年の修学旅行先の台湾の料理を調理、会食、文化交流を行う。⑤台湾武陵高級中学より26名来校、文化交流・ディスカッション等を実施。⑥1年生は、冬休み2日間、ネイティブ講師による少人数英語漬けプログラム。70名参加し、TOEFL問題を題材にプレゼンテーションスキルの向上を目指した演習を行う。2年生は、冬休み2日、春休み2日の4日間。31名参加、冬休みはディベートに、春休みはTOEFLの演習に重点を置いたプログラムを実施。⑦4月～2月中旬まで約一年間、ドイツからの留学生を受け入れ、修学旅行にも一緒に参加した。⑧「英語教育推進事業」Advanced Class（前期）に2名参加。
大手前	①チャレンジTOEFLIBT ② English Camp ③シンガポール語学研修 ④マレーシア海外研修 ⑤英国交流 ⑥アメリカ研修 ⑦海外大学、AO入学向けTOEFL個別レッスン	①12月に2日間、1月に2日間、3月に2日間、TOEFLIBTスコア向上をめざした集中講義。40名参加。②3月上旬に3日間、大学院生と議論したり、外部講師を招いて語学力を強化した。40名参加。③現地調査・ホームステイを行いのみならず、ネイティブ指導者から英語プレゼン発表スキルを学ぶ。70名参加。報告発表会を英語で行う。④研修施設で英語での講演・説明・講義を受ける等、多民族国家における英語によるコミュニケーション法を体験する。70名参加。⑤英国ウェールズ・ペンギライス校との交流。12名の生徒・教員が来校し、文化交流を深めた。12日間実施。⑥アメリカのスタンフォード大学を始めとする先進的な大学を見学し、現地交流などで語学力も高めた。7名参加。⑦京都大学特色入試、海外大学入試のための、TOEFL個別レッスンを実施。参加5名参加（海外進学2名と京都大、大阪大、神戸大各1名合格）
四條畷	①英語コミュニケーション講座(7月16日) ②TOEFL iBTチャレンジ講座(レベル別2コース)全10回(10月～1月)、プラクティステスト2回(10月、1月) ③イングリッシュキャンプ(9月19日) ④英語暗唱大会(9月12日) ⑤異文化理解講座(2月16日)⑥如月杯(2月4日) ⑦英語コミュニケーション中講座3回(3月)⑧オーストラリア研修(3月13日～3月22日)	①1年生全員を対象に、外部機関にネイティブ講師派遣を依頼し、自己紹介から意見の表明まで実習する。②1,2年生希望者対象で外部講師とSETが講義を行い、実施前と後に英語力を計る。③1,2年生を対象に、レクリエーションを交えて英語を使うことを主眼にした取り組みを行う。④1年生の希望者が四條畷市で行われる暗唱大会に出場し、3名が入賞した。⑤オーストラリア研修参加予定の生徒を対象に、外部講師を招き、オーストラリア英語を学ぶ。⑥1年生全員が一定の長さの英文を暗唱し、クラス代表がそれを披露する大会を開催。⑦英語でのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高めたい生徒(希望者)が、外部機関の講座で学ぶ。⑧オーストラリアの高校の授業を体験し、現地生徒の家にホームステイすることを通して異文化を学ぶ。
高津	①「英語コミュニケーション集中講座(KITEC)」の実施 ②英国語学研修の実施 ③TOEFL特別講座の実施 ④国内英語研修の実施 ⑤英語外部検定試験(英語検定・TOEFL・GTEC)の受験 ⑥SSH事業における英語での交流・発表 ⑦AIU米国高校生ディスカッション	①夏季休業期間中に、1・2年の全生徒を4～8人の少人数グループに分け、1年生は日常の単語・フレーズ運用レベル、2年生は簡単な英語によるスピーチ・ディスカッションレベルと、到達目標を定めて実施した。②7月19日～8月2日の15日間、英国・ウィンチェスターSparsholt College(生徒24人参加) ③TOEFLに対応できる英語力をつけるための特別レッスンを実施(1月) ④3月18日～3月20日、静岡県English Village(生徒17人参加) ⑤1・2年生全員がGTEC受験、多数の生徒が実用英語技能検定を受験し良好な成績を修めることができた。⑥英語に対する学習意欲をさらに高めることができた。⑦SSH重点卒業生においても、日韓河川の生態系調査等について、両国の高校生間で英語でのディスカッション、英語での研究発表に取り組んだ。⑧AIU米国高校生とのディスカッション交流に向け、のべ7日間のディスカッション指導を行った。
天王寺	①1・2年生文理学科英語表現授業内TOEFL Lesson ②1年生普通科・2年生普通科・文理学科土曜日 TOEFL Lesson ③イングリッシュデイ ④海外研修5ヶ所 ⑤MOOCsを利用した海外の大学講座受講 ⑥天高アカデミアにおける英語による講義 ⑦ケンブリッジ大教授による英語個人レッスン ⑧1年生全員がEUシンポジウムで英語による講演受講 ⑨サイエンスイングリッシュ ⑩英語教育推進事業Advanced Class ⑪資格試験受験：TOEFL iTP受験 ⑫大阪グローバル塾	①両学年ともに英語表現の授業内でTOEFLIBTにフォーカスをあてたSETの授業(年間35回)を実施 ②5月30日から1月30日までの期間の土曜日に20回TOEFLIBT(使用教科書Basic Skills for the TOEFL iBT)の講義(Advanced38名、Basic18名)を実施 ③大阪大学留学生(18名)による英語によるさまざまな企画。本校生32名参加。④ケンブリッジ大学(8名)、ハーバード大学(11名)、カリフォルニア大学(29名)、オーストラリア・ホランドパーク高校(5名)、台湾(高校連携・大学・企業見学準備)⑤開講講座「Lessons from Ebola」「User Innovation」「Justice」「The Science of Happiness」を生徒26名(1年15名・2年11名)が12月～1月にかけて4週間受講した。⑥大阪大学、立命館大学、ならびにハーバード工業のネイティブ、日本人の講師による英語を用いた講義を4回実施。⑦イギリス現地からSkypeを利用して一人当たり週20分のレッスンを26回実施していただいた。6人が受講した。⑧国際会議場にて1年生全員360名が駐日EU代表部の方による英語の講演2本を受講。(同時通訳付き・日本語の講演1本も英訳あり) ⑨理科(物理、化学、生物)の各科目2グループ(1グループ5～8人)でトピックを選択し英訳。英語の授業で添削し原稿を書き上げる。各班10分の持ち時間でそれぞれプレゼンテーションを実施。⑩ネイティブ講師によるコミュニケーション力向上を図る講習 前期7名参加 ⑪土曜日の講習の時間帯に大学での受験を見込んでTOEFLiTPを3年生24名が受験。平均点が470.29(2014年大学の平均点が464.82)500点以上が6名 ⑫前期イギリス派遣2年生2名、後期オーストラリア派遣1年生1名
生野	①イングリッシュキャンプ ②オーストラリア語学研修、台湾研修 ③TOEFL iBTチャレンジ講座 ④英語検定全員受検	①1年生全員を対象に、7月第1週に集中講義形式で、生徒14名につき一人のネイティブ教員がつき、英語によるディベートやキャリアプランプレゼンテーションを行った。②豪州ブリスベンで一泊ずつホームステイを行い、FCAC(フーザ-フ-アツガリカカツ)での英会話レッスン、現地校生徒との交流、エクスカージョンによる異文化理解を実施。また、3月に台湾研修を初めて実施し、アジア圏での英語によるプレゼンテーション交流や大学生との台北市内B&Sを行った。③7月に実施したイングリッシュキャンプ(1年生全員対象)及び8月上旬の海外語学研修(1・2年生)の参加者を中心に、1・2年生を対象にしたTOEFL iBTチャレンジ講座を開講し、英語力のさらなる向上と英語力を活用したコミュニケーション能力の向上並びに異文化理解・多文化共生等を図った。④英語検定の全員受検を行った。(1年準2級・2年2級)
三国丘	①SGH事業の実施 ②SETによるTOEFL授業の実施 ③TOEFLチャレンジの受験 ④TOEFL iTPの受験 ⑤海外研修の実施 ⑥海外の高校生との交流 ⑦英語による課題研究発表	①1年生40名を対象に、毎週メリルハースト大学の派遣授業としてネイティブによる環境や経済についてのオールイングリッシュの授業を実施。さらにアメリカのメリルハースト大学にて23名が講義を受講し、英語で課題研究発表を行った。また、同講師による全生徒希望者を対象としたスピーキングの講習を年10回行った。②1年生160名を対象に、週2コマのSETによるTOEFL授業を実施。さらに、希望者を対象に年4回の講習を行った。③TOEFL授業を受講している生徒がTOEFLチャレンジ(TOEFL iBT Practice Test)を受験。④1年生全員がiTP Level2、2年生希望者がiTP Level1を受験。⑤海外ツアーを5種実施。(1)オーストラリア(30名) 夏休みに2週間カンタベリー州にて授業を受けたり、英語研修を行った。(2)フィリピン(19名) 夏休みに8日間マニラにてアジア開発銀行やGK Farmにて研修を行い、発展途上の現状を学んだ。(3)アメリカ(フロリダ)(20名) 夏休みに7日間NASAやフロリダ工科大学で研修を受け、科学技術や研究について学んだ。(4)アメリカ(ポートランド)(23名) 春休みに9日間ポートランド州を訪問し、メリルハースト大学や環境に関する施設での研修を行い、環境について学んだ。(5)台湾(21名) 春休みに野球部が5日間嘉義高校を訪問し、スポーツや授業交流を行った。⑥アメリカより1名(6/8-6/26)、中国より30名(6月)、オーストラリアより15名(9月)、韓国より25名(10月)が来校し、授業などでの交流を実施。⑦3年生のSSHの生徒が、これまでの研究成果を大阪大学の留学生に英語で発表。
岸和田	①実用英語技能検定 校内会場 ②TOEFL iBTチャレンジ講習 ③グローバルリーダー養成プログラム(カリフォルニア大学パークレー校版) ④グローバルリーダー養成プログラム(校内実施版) ⑤オーストラリア語学研修 ⑥台湾景美女子高級中学(姉妹校)との英語での相互交流(リンガ・フランカ交流) 海外修学旅行の実施 ⑦海外高校生との交流 ⑧海外日本語教師との交流 ⑨World Cafeの実施(TEDなど活用) ⑩センター対策リスニング講座 ⑪AIU米国高校生とのディスカッション交流 ⑫英語によるSSH探究・課題研究発表	①は、本校で長年実施している英検(3級、準2級、2級)を校内で実施した取り組みである。一次試験合格者には、二次試験の面接練習指導を行った。問題集の貸し出しも随時行っている。②は、1・2年生を対象にした特別講習で、外部講師からTOEFL iBTの試験を解くコツを指導してもらった。また、講習の前と後にPractice Testを実施し、本番の試験の体験をしてもらった。③UCパークレー校での、大学生との小グループで1週間、英語でのディスカッションとプレゼンテーション練習を繰り返し行い、最終日には、全員が自分の将来の夢や研修で学んだことについて、英語でプレゼンテーションを実施。5回の事前学習(うち1回は、ネイティブ講師によるディスカッション&プレゼンテーション1日講習)と1回的事後学習、1年生への報告会も行った。15名参加 ④校内に留学生を招き(生徒宅にホームステイ)、4日間英語でのディスカッションとプレゼンテーション練習を繰り返し行い、最終日には、全員が自分の将来の夢や研修で学んだことについて、英語でプレゼンテーションを実施(保護者等に公開)。42名参加。⑤32名対象にオーストラリアのゴードンバールハイスクールにて、パティとの交流やホームステイ(1家族1生徒)など英語を使わざるをえない環境の下で、語学研修を実施。⑥相互交流は、英語を共通言語として行っている。4月には、68名を本校に受け入れ(まる1日)、10月には修学旅行として360名が景美女子を訪問(まる1日)。英語での学校紹介やクラブ体験、台北市内巡りなど、いずれの学校でも、交流はパティによる1対1対応を基本としている。全員がリンガ・フランカ交流を通じて、英語の学習へのモチベーションが持てるように工夫している。⑦韓国 水原外国語高校から生徒25名(10/28) 香港 King's Collegeから生徒30名 いずれも生徒がパティとして授業をサポートし、クラブ活動体験や英語による意見交流を実施 ⑧オーストラリア日本語教員5名 1人の日本語教員に数名ずつの希望生徒の小グループで、お互いの文化を英語で紹介するワークを実施 台湾の教育関係者30名 授業見学等実施 ⑨本校NETが希望者に、TEDなどYouTubeの英語を視聴し、ディスカッションする講座を6回実施 ⑩外部講師を招きセンター対策の講習を12月～1月にかけて、80人の定員で5回実施 ⑪参加したESSクラブの生徒へのディスカッション事前指導5回うち、1回はTNETが実施 ⑫3年SSHでの活動キャリアスタートゼミで、1年2年生も参加する最終発表会で、化学分野の探究・課題研究発表を代表生徒が英語で行った。